

令和6年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

3年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<p>○漢字の定着に大きな差があり、学期末の漢字まとめテストでは、40%の児童が80点未満だった。既習の漢字を使わずに平仮名を使って書く児童がいる。</p> <p>○話すことにおいて、ペア、グループでの話し合いでは、自分の考えを伝えることができる。しかし、全体の場で話すことに抵抗感をもつ児童が多くいる。</p> <p>○書くことにおいて、文章構成に気を付けて内容を整理して書くことが難しい。</p>	<p>○日頃のノート、プリント、作文などを確認し、国語以外の学習でも積極的に漢字を使っている姿を評価する。また、漢字を使ったミニゲームなどで楽しみながら漢字に親しむ機会をつくる。</p> <p>○引き続き、グループ・ペアなど、話し合いの形態を工夫して活動を行い話し合い活動を重ねる。また、スピーチなど全体の場で話す機会を設け、場に慣れるようにする。</p> <p>○授業では例を示して、「はじめ・中・おわり」の役割を理解したり、構成を意識したりできるようにする。</p>	<p>○学年末の漢字テストでは、学年平均が82点と3年生の漢字が身に付いた児童が多かった。しかし、漢字の定着には、児童によって大きな差があるため引き続き指導が必要である。</p> <p>○少人数グループやペアなど、話し合いの形態を工夫して活動を行い、活動を重ねることで自分の意見を意欲的に伝えることができた。全体の場での発表にも慣れてきたが、抵抗感がある様子は見られる。</p> <p>○例を示すと、「はじめ・中・おわり」に気を付けて文章を書くことができる児童が増えてきた。自力で文章構成に気を付けて書くために、引き続き指導が必要である。</p>
社会	<p>○学習に対する意欲があり、文京区テストで85%程度正答を得ることができている。地形や人口の割合などの図や資料から必要な情報を読み取り問題に答えたり、知りたい情報を探し出したりすることに課題が見られる。</p>	<p>○資料を扱う活動を通して、必要な情報を読み取ったり、資料を選んだりすることができるように指導していく。</p>	<p>○教科書の図やグラフなどから必要な情報を読み取りまとめることができた。社会科見学や、消防署などで知りたいことを質問することはできるが、自身の力で資料から情報を探し出すことには課題が見られるので指導を続ける。</p>

	<p>○学校のマップ作りでは、地図記号や絵などを使って分かりやすく作成することが課題となった。</p>	<p>○地図記号や方角など繰り返し学習の機会を設けて習熟させる。日常的に東西南北を意識させたり、地図を積極的に用いたりする。</p>	<p>○地図記号や絵などを使って、分かりやすいマップを作成することができた。今後も日頃から記号や方角などに興味をもたせ、習熟させる。</p>
理科	<p>○学習への意欲が見られ、テストで平均90%以上正答を得ることができている。自ら問題を設定する力が身に付いていないことが、今後の課題である。</p> <p>○「チョウのかんさつ」では実物を観察できる機会が少なかったため、写真中心の学習になり、あまり主体性が見られなかった。</p>	<p>○単元初めの、試しの実験の段階で、差異点や共通点を見付けやすい活動を意図的に設定し、自ら問題をつくりやすくする。</p> <p>○実験や観察の際は、できるだけ実物を用意し感触やにおいなど、体験的に学習ができるようにする。難しい場合は適宜 ICT 教材を活用していく。</p>	<p>○単元の始めに、この後の活動につながるような実験や発問を工夫することで、児童自ら問題を設定することができるようになった。実験結果から考えていく力を育てるため、予想や、考察の仕方なども工夫していく。</p> <p>○風やゴム、電気や磁石の単元では、一人一つの教材を使い、主体的に取り組んだ。実物を使った体験を今後も続けていく。</p>
体育	<p>○楽しんで体を動かすことができている。しかし、体育の授業以外での運動経験が少ない児童がいる。</p> <p>○友達のがよかったところや自分が上手くできたときの体の動かし方などを言語化し、伝え合うことに課題がある。</p>	<p>○さまざまな種類の運動を行い、適切な体の使い方を身に付け、運動の楽しさに気付けるようにする。また、体力の向上も図れるように運動量も確保する。</p> <p>○良かったポイントを言語化し伝え合う活動を設定し、互いにアドバイスし合い、高め合うことができるような環境づくりをする。</p>	<p>○さまざまな種類の運動を行い、運動の楽しさに気付かせることができた。活動の正しい手順を細かく伝えたり単元に関連した易しい運動を取り入れたりするなど今後も段階的に取り組めるようにする。</p> <p>○互いにアドバイスし合う様子が多く見られるようになってきた。引き続き学び合いの場を設定し、互いの活動を高められるようにする。</p>

総合的な学習の時間	<p>○自分のテーマを決めて必要な情報を集める学習行い、問題解決の基本的な手順を知った。自分で課題を決めることに課題がある児童がいた。</p> <p>○ローマ字を学習し、学んだことを基にタイピング練習を行ったが、まだ定着が不十分である。</p>	<p>○学習方法の定着のために、自身で課題を発見し、問題解決方法や手順を理解できるように身近なテーマで調べ学習を行う。</p> <p>○引き続き、タイピング練習を行う。また、タブレットPCを使って学習のまとめをするなど活用できる機会を作る。</p>	<p>○地域安全マップの作成を通して、危険な場所や安全な場所について調べ、模造紙にまとめることにより、テーマに沿った内容について考えることができた。</p> <p>○タブレットPCのアプリ「オクリンクプラス」を活用して、内容に応じた情報を打ち込んだり、写真を検索したりして、それらを活用したスライドを作成することができるようになった。</p>
-----------	--	--	---